

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①環境・多様性

○野鳥に関する取組

・野鳥観察と巣箱作り

本校では、校内と近くの三倉岳キャンプ場に巣箱かけを毎年行っている。校内にかけた巣箱にシジュウカラが産卵し、餌をくわえて入ったり、雛の糞を運び出した様子を観察することができた。また、キャンプ場にかけて4つの巣箱のうち、3つに巣が残っており、例年よりよく小鳥が利用したことがわかり、児童は喜んでいた。この巣箱はずしの日には、学校周辺の冬鳥観察も行った。このときの様子をテレビ局が取材し、ローカルニュースとして放映された。

8月に、保護者の協力を得て巣箱づくりをした。巣箱をかける位置やかける意味などを学習し、3月に校内と三倉岳の麓に巣箱掛けを行った。



・ツバメの調査

本校の校舎の軒下には、コシアカツバメが巣をたくさん作っている。校区の民家・施設にも巣を作っているのか調査を4年生がした。廃校になった中学校などにコシアカツバメの巣があったが、小学校と比べずいぶん少なく、民家などほかの建物は、ふつうのツバメが巣作りをしていた。



本校の環境がコシアカツバメにとって適したところであることが確認できた。また、その体験をふまえて愛鳥ポスターを作成した。

○川に親しむ活動

夏休み期間に、保護者と児童で、学校横を流れる大谷川で魚釣りをした。釣れたのはカワムツ(ハヤ)だけであったが、保護者は昔の体験を児童に懐かしそうに話していた。



○環境保護についての講演会

参観日に、広島県環境学習推進専門講師を招き、保護者、児童と里山と人々の暮らし、地球温暖化を防ぐ取組について話を聞いた。また、道徳授業「自然を大切に作る心」を見ていただき、意見を伺った。



○清掃活動

学校内外の清掃活動を定期的に行い、自然環境の保護活動を行った。



②防災

6月の参観日に、講師を招いて防災教室を行った。避難するときどのような準備をしたらよいか、保護者児童がグループごとに話し合い意見交換をして学んだ。



③食育

近くの高等学校（県立大竹高等学校）の家庭科クラブの方と、地域の特産品を使った料理教室を実施した。



④伝統文化

（5・6年生の総合的な学習の時間）

本校は校区が広く、自分が住んでいる地域以外の校区の様子を知らない児童が多い。そこで校区めぐりをして、自然や伝統文化などに目を向ける取り組みを行った。児童ひとりひとりが、調べたい課題を設定し、調べたことをパンフレットにまとめる活動をした。調べたことは次のことである。

- ・各地域の神社の由来や祭りについて
- ・地域に伝わる伝説について
- ・自然公園となっている三倉岳について
- ・親水公園の良さの問題点
- ・農家のにわとり改良について



（4年生の総合的な学習の時間）

地域の特産物である栗について、栗農家などにインタビューをして、地域と栗のかかわりや現状について聞き取りをし、マロンの里交流館で作られている「栗定食」を応援するポスターづくりをした。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）